

令和5年度 授業改善推進プラン

【数学】

学年	現状の課題	指導の重点と改善策 ※求められる力【短期と中・長期】
1 学年	<p>1学期期末考査・朝学習確認テストでは、正の数・負の数の計算の達成率は75%であった。</p> <p>一方で、「思考・判断・表現」の観点に関しては、1学期期末考査の達成率が33%と課題が見られた。特に、整数に関する問題では、教科書の類題を出題したが、正答率に課題が残った。</p>	<p>【短期】 e ライブラリやドリルプリントを用いて、授業内でも基本的な計算力を向上させる。</p> <p>【中・長期】 学び合い活動を大切に、自分の考えを言語化する場面を多く設け、「思考力・判断力・表現力」を身につける。</p>
2 学年	<p>定期考査の結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」を問う内容では、正答率5割を下回る生徒が39%程度であった。課題としては引き続き「基礎計算力の定着」が必要である。ただ、「2章 連立方程式」では、加減法や代入法の基本的な内容については7割程度の正答率があった。 ・「思考・判断・表現」を問う内容でも、正答率8割を超える生徒が22%程度であった。「1章 式の計算」の利用では、問題集等から類似問題を出題しているが、記述問題の正答率が低く、内容の定着が図られなかった。 	<p>【短期】 朝学習やドリルプリントを活用し、基礎計算力を身につける。</p> <p>【中・長期】 文章題や証明問題などを自分の力で繰り返し取り組ませ、全体に説明する場面を設けて文章で表現する力を身につける。</p>
3 学年	<p>1学期期末考査・朝学習確認テストでは、「知識・技能」を問う内容では達成率は73%、「思考・判断・表現」を問う内容では達成率が61%であった。全体としては基礎的な計算力は身につけている生徒が多い。反面、記述式の問題など考える問題が苦手な生徒が多い。</p>	<p>【短期】 朝学習やドリルプリント、e ライブラリを活用し、基礎計算力をより向上させる。</p> <p>【中・長期】 学び合い活動を大切に、自分の考えを言語化する場面を多く設け、「思考力・判断力・表現力」を身につける。</p>

